



2026年3月24日

多様性を尊重し、推進する大学としての決意を改めて表明

## 龍谷大学「ダイバーシティ宣言」を發出

「自省利他」の行動哲学のもと、多様な人々が学び・働き・活躍できる包摂的な社会の実現をめざす

### 【本件のポイント】

- ・学内外における多様性推進の取組実績を踏まえ、「龍谷大学ダイバーシティ宣言」を發出
- ・建学の精神と「自省利他」の行動哲学に基づき、DEIB（Diversity, Equity, Inclusion, Belonging）を大学運営の基盤に位置付け
- ・教育・研究・社会貢献・大学運営の各分野で多様性を尊重する取組を推進し、持続可能で包摂的な社会の実現をめざす

### 【本件の概要】

龍谷大学（学長：安藤 徹、所在地：京都市伏見区）は、このたび、多様性を尊重し、誰もが安心して学び、働き、能力を発揮できる大学の実現をめざし、「龍谷大学ダイバーシティ宣言」を發出します。

現代社会においては、性別、年齢、国籍、価値観、障がいの有無、性的指向・性自認など、多様な背景をもつ人々が共に生きることを前提とした社会づくりが求められています。大学は、教育・研究を通じて社会を先導する立場として、多様性を尊重し、包摂する姿勢を明確に示すことが重要です。

本学は、創立400周年を迎える2039年度末までを期間とする長期計画「龍谷大学基本構想400」<sup>※1</sup>において、自らを省みて他を利する「自省利他」の行動哲学を掲げ、「仏教SDGs」を推進しています。そのもとで、これまで教育・研究・大学運営・社会連携の各分野において、多様な学生・教職員が学び、働き、参画できる環境づくりに取り組んできました。また、ジェンダー平等の推進、多様な働き方の推進など、DEIBに関わる取組を学内横断的に展開してきました。

近年では、2021年から生理用ナプキンの無料化を実現するサービス「OiTr」を関西の大学で初めて導入するとともに、生理にまつわる課題解決に向けた取組を推進してきました<sup>※2</sup>。2024年4月にはムスリム等にも対応した礼拝室をキャンパス内に開設し、特定の宗教に利用を限定せず、誰もが利用できる個人の信仰のためのスペースとして運用しています<sup>※3</sup>。そのほか、LGBTQ+をはじめとするセクシュアル・マイノリティや、あらゆるマイノリティが多様性豊かに暮らせる社会をめざす「Tokyo Pride」や「Kyoto Rainbow Pride」といったイベントにブース出展し、学生と教職員が一体となり想いを発信してきました<sup>※4</sup>。

これらの実践を通じて、多様性が大学の教育力・研究力・社会的価値を高める重要な基盤であることを確認してきました。

「構想400」では、2039年の将来ビジョンとして、「『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる」ことを掲げています。ダイバーシティ宣言の發出は、この将来ビジョンの実現に向けた根幹的な取組の一つです。

今回の「龍谷大学ダイバーシティ宣言」の發出により、本学は、多様性を尊重し包摂する大学としての決意を広く社会に改めて表明するとともに、教育・研究・社会貢献を通じて、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現に貢献していきます。

### 【宣言内容】

以下のWEBサイトもしくは別紙参照

<https://www.ryukoku.ac.jp/about/activity/diversity/>

※1 龍谷大学基本構想 400

龍谷大学が創立 400 周年を迎える 2039 年度末を見据えた 2020 年度から 2039 年度までの 20 年間で計画期間とする長期計画。(詳細) <https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

※2 生理に関する経済的問題・ジェンダー問題の解決に向けた取り組み

本学学生による情報発信を契機に、2021 年に各学部・部署の垣根を越えた教育職員・事務職員、フェローから構成される部署横断型のワーキンググループを設置し、「生理の貧困」に代表される生理に関する課題解決に向けて取り組みを実施。

(詳細) <https://ysbrc.ryukoku.ac.jp/wg/>

※3 ムスリム等のための礼拝室

DE&I 推進の一環として、深草キャンパス内に設置。本学の学生や教職員のみならず、来学者など誰でも手続きなく自由に利用できるようにしている。(詳細) [https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/map/prayer\\_room.html](https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/map/prayer_room.html)

※4 各イベントにブース出展した学生チーム「にじ LOVE」

2025 年 4 月に梅小路公園で開催された「Kyoto Rainbow Pride」、同年 6 月には東京・代々木公園で開かれた LGBTQ+ の祭典「Tokyo Pride」にも学生と教職員が一体となり、ブースを出展しました。

(学生インタビュー記事) <https://retaction-ryukoku.com/3410>



「OiTr」のディスペンサー



ムスリム等のための礼拝室



Tokyo Pride でブース出展した学生チーム「にじ LOVE」

## 龍谷大学ダイバーシティ宣言

龍谷大学の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。本学は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します。このことを実現する心の一つとして「平等」の心を掲げています。『仏説阿弥陀経』には、次のような一段があります。

……さとの国の池にはとても立派な蓮の華が咲いている。青色の蓮華は青い光、黄色の蓮華は黄色い光、赤色の蓮華は赤い光、白色の蓮華は白い色の光を放っている。一輪一輪ちがっており、それらはどれもそのまま香り高く何とも美しく素晴らしい。さとの国はそのような徳の高い、言葉を越えた素晴らしさで満ちあふれている。  
(『阿弥陀経』より意識)

阿弥陀仏の光に照らされたすべての「いのち」は各々の特徴を持ったままに光り輝いていると、教えてくださっています。阿弥陀仏には、すべての違いを認め慈しむ眼があります。

私たちがまた、その眼をいただいていた時、いのちがそれぞれの特徴を持ったままに光り輝いている世界が見えてきます。それこそが、本当の意味での「平等」であり、現代社会が目指すべき多様性 (Diversity) の本質を示しています。

人はそれぞれ、ジェンダー、性的指向・性自認、障がいの有無、人種、民族、国籍、ルーツ、宗教、信条、社会的立場、年齢など、多様な背景を持って生きており、誰一人として同じ存在はいません。

龍谷大学は、すべてのいのちが尊重され、それぞれの特徴を持ったままに光り輝ける社会の実現を目指します。そのために、次のようなダイバーシティの取り組みを、積極的に推進していくことを、ここに宣言します。

### 1. すべてのいのちが輝くキャンパスづくり

龍谷大学は、学生・教職員をはじめとするすべての構成員と共に、多様性 (Diversity)、公正性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) を積極的に推進し、誰もが受け入れられ、安心感を持てる (Belonging) キャンパスづくりを進めます。

### 2. 未来を創出する変革の担い手の育成

龍谷大学は、自らのありようを省みながら多様な価値観を尊重し、多様な人々がそれぞれ輝ける未来を創出する、変革の担い手を育みます。

### 3. 共存共栄と持続可能な社会への貢献

龍谷大学は、ダイバーシティの推進を通じて、人類全体の共存共栄と、地球環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献します。